平成25年2月13日

各 位

上場会社名　株式会社 田中化学研究所
代表者　代表取締役 社長執行役員 田中 保
（コード番号　4080）
問合せ先責任者　取締役執行役員 嶋川 守
（TEL　0776-85-1801）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年5月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,000	△820	△920	△900	△71.15
今回修正予想(B)	9,100	△1,100	△1,500	△1,300	△102.77
増減額(B-A)	△4,900	△280	△580	△400	
増減率(%)	△35.0	―	―	―	
(ご参考)前期実績（平成24年3月期）	10,257	△1,112	△1,177	△1,314	△103.94

修正の理由

当社製品の主力用途であるリチウムイオン電池市場は、スマートフォンやタブレットPCなどの用途による需要伸長はあるものの、ノートパソコンに関しては世界的な販売不振による需要減少があり、全体としては横ばい状況となっております。更に、将来的に期待されております環境対応車向けは充電インフラ整備や走行距離の問題により市場の広がりは限定的な状況が続いております。

そのような状況の中、当社は販売戦略の実行により販売数量面については回復基調となり、当第3・4四半期にかけて当初販売計画に向けた取り組みを実施してきましたが、新興国を中心とした正極材料メーカーとの競合激化状況のもと、短期的な顧客の在庫調整の影響による販売数量の落ち込みや、顧客と連携して計画していた新製品の導入遅延により、当社通期の営業利益を引き下げる見込みであります。

また、上述のリチウムイオン電池の市場環境は当面継続するものと見られることに加え、当社製品の主原料であるニッケル、コバルトメタル価格が計画当初よりも著しく下落しているため通期の売上高も大きく引き下げる見込みであります。

また、今回の業績予想の修正を厳粛に受け止め、本日公表の「役員退職慰労金受給権の放棄に伴う特別利益の発生に関するお知らせ」に記載のとおり、役員退職慰労金債務免除益 144百万円を平成25年3月期 第4四半期において計上いたします。

以上のことから、上表の通り業績予想を修正いたします。

※上記の予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定及び確信に基づくものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績等は予想数値と異なる場合があります。

以 上